

まず、先日2月の月曜日におきましたトルコ南東部におけます大変大きな地震の被害に遭われました皆様方に心よりお見舞いを申し上げたいと思います。特に私どもにとりましてトルコには、先日の日曜日、林外務大臣とともに駐日トルコ大使が倉敷市をご視察されまして、その時にも倉敷市から四国にかかっております瀬戸大橋とトルコの第2ボスポラス橋が1988年から姉妹橋であるということのお話などもいたしまして、これからさらに連携を深めていこうというお話をちょうどしたばかりの、それゆえもちろんこの度のお見舞いも申し上げ、そして倉敷市といたしまして冒頭で発表させていただきますけれども、本庁及び各支所におきまして、トルコ南東部地震の義援金の受付を、今日から3月31日までの予定で始めさせていただくことといたしました。このような募金箱を本庁の1階、そして各支所の窓口のところにおきまして受付をさせていただき、募金箱のものにつきましては、集まりました金額をトルコ大使館の方にお渡しをさせていただきたいと思っております。またもちろん日本赤十字社を通じました募金についても、合わせまして倉敷市からも呼びかけをしていこうと思っております。大変大きな地震ということで心よりお見舞いを申し上げたいと思います。冒頭まず以上でございます。

続きまして令和4年度の2月の補正予算そして令和5年度の当初予算の調製が整いましたので、そちらについて発表をさせていただきます。まず今回の予算でありますけれども、「時代の荒波を越えて安心と成長を力強く進める予算」と題しまして、予算の調製を行ってまいりました。ご存知のように、コロナの状況、そして現在の物価高騰、そしてウクライナ情勢など、非常に不安定な荒波の中ではありますけれども、そこを越えて倉敷市また地域の発展のため、そして地域の皆様の健康福祉増進のために頑張っていく、市の未来のために力強く行政を進めていきたいという思いで、この命名をさせていただきました。私の方から2月の補正予算そして当初予算につきました

て、主なものにつきまして、その考え方なども含めまして、お話をさせていただこう
と思います。はい次お願いします。

2月の補正予算は合計で222億円でございます、こちらにつきましても過去最大の
補正額となっております。国からの様々な交付金等のこともあるわけでございます
けれども、市といたしまして、これまで取り組んできております市の公共施設の個別
計画の実際の進行を進めていくということでありまして、また、計画的な施設の整
備などのところの金額が大きな部分となっております。市民生活に関わってきます部
分としては、小学校の特別教室のエアコンの設置をこの2月補正予算に組みまして、
繰越をして令和5年度中に設置をしまして、令和6年の夏の時期からお使いいただけ
るように進めていきたいと思っております。昨年9月そして12月等でも幼稚園そ
して高校等のエアコンについても進めてきておりますが、その一環の中で取り組みを
進めてまいります。

続きまして2月補正予算の前倒し計上ということで書いているものがいくつもご
ざいます。こちらは国からの補正で成立をいたしました物価高騰の予算を市がどの分野に
配置をしていくかということをごみんなで考えてまいりまして、実際のところは2月補
正で計上いたしまして、執行は令和5年度中の実施ということになります。

まず一つには、食料品価格の高騰の影響を受けております子育て世帯の負担軽減を
図るために、まだ何月ということは決まっておられませんけれども、小中学校給食費の
令和5年度につきまして、1カ月分について市が支援を行っていきたく思っていま
す。

続きまして米粉の予算でございます。令和4年度の予算の中でも、米粉の事業の取
り組みをしてまいりましたけれども、大変多くの反響をいただきまして、市といたし
ましては自分の市の中での食料自給率、食料安全保障というのもちょっと言い方は大

きいかもしれませんが、小麦の価格高騰の対策ということと、それから市内の農業振興ということも合わせまして、この米粉の事業についてさらに進めていこうと思っています。今回の予算では、また新たに米粉製粉機を設置しますということで書いてありますが、今場所の方は検討中でございますが、市がある程度大きな米粉の製粉機を購入しまして、多くの方にもお使いいただけるような、また使用の基準等は作っていかないといけないと思っておりますが、気軽に米粉を皆さんが使ってもらえるような環境も整備したいと思っております。

続きまして、電気・ガス価格高騰緊急経済対策、そして次のエネルギー価格高騰対策省エネ設備の導入の事業、また電気自動車等導入費補助事業ということで、令和4年度の本予算の中、またこれまでの補正予算の中でも取り組みをしてまいりましたけれども、電気・ガス価格の高騰の影響を受けている中小企業等の方についてこの予算を活用して、市独自の支援を令和5年度につきましても行っていきたいと思っております。その関連もございまして次の省エネ設備についても実施をまいります。電気自動車等導入費補助事業ですけれども、こちらにつきましましては15万円の電気自動車につきましましての補助について、令和5年度の実施の台数として15万円×300台の補助の実施を予定してまいります。

続きまして、大きな事業でありますけれども、こちらのすぐ、市役所のところにあります白楽町汚泥処理再生センターの整備事業、そしてこちらは大変大きな事業ですけれども倉敷西部クリーンセンターの整備事業、こちらの実際の工事の予算が大変大きな金額となっております。市民の皆様の生活にとってなくてはならないものでございますので、令和7年度からの稼働を目指しまして、着実にこの工事を進めていきたいと思っております。

続きまして令和5年度の当初予算についてであります。こちら2,022億円強とな

りまして過去最大の予算額となっております。先ほど申しました、市の将来のために必要な様々な施設、また防災関係の施設などなどについて計画を立て、そしてそれを実行していく、工事の実際の整備の事業が今回多く上がっております。まず、豪雨災害からの復興ということで、真備の復興防災公園の整備事業約5億円でございますけれども、この整備を進めてまいります。続いて緊急治水対策事業で堤防部分のまだ残っております、樋門といいますか樋管部分の工事の残っている部分について、令和5年度中に全て完成すれば全ての工事が完了する予定となります。そしてその完成いたします小田川の堤防道路についてはサイクリングロードとして活用して、これは倉敷市内また矢掛町、そして総社市など多くのサイクリングロードともつないで、観光客の方にも訪れていただけるようにしたいと思っております。

さっき令和4年度の予算で一つ言い忘れたんですけれども、パネルの方はないんですけれども令和4年度に実施をいたしまして、大変好評いただきました公共の電車それからバスの無料デーということで、下電さんそれから両備さん等のバス、それから水島臨海鉄道について令和4年度は4回実施をいたしましたけれども、今回は令和5年度に6回実施をできるように予算を2月補正の方に組んでいるところであります。

それでは続きまして、子ども・子育て関係のところでございます。まず考え方といたしまして、現在国を挙げて子育て支援、そして子どもさんが安心して生まれていただいて、そして産んでいただいて子育てしやすい環境づくりということに力を入れております。倉敷市におきましても「子育てするなら倉敷で」ということで、様々な子育て施策に取り組んできておりまして、もちろんこれは保育園、幼稚園そして学校教育、もちろん医療費のことでもそうございまして、現在の倉敷市の合計特殊出生率一番直近のものは1.55でございます。その前の年度については1.54です。岡山県の合計特殊出生率県内全体は現在1.45でありまして、その1つ前は1.48でございます。

さらに全国の合計特殊出生率は 1.30 でありまして、倉敷市では、失礼しました、その前の年度は 1.33 ということで、全国そして岡山県の、一つの例ですけれども、合計特殊出生率がまた下がっている状況の中で、倉敷市は 0.01 この 1 年の間で上昇するというので、取り組みについては頑張ってきているわけでございますけれども、こうした中で国が今回次元を異にするような子育て応援施策を取り組んでいくということとも呼応いたしまして、市の子育て支援のことについて今回発表させていただきます。次のページをお願いします。拡大部分ですけれども、令和 5 年度からこの※印のところの双子以上の方の妊婦さんの健康診査回数を 5 回追加で実施をしております。通常は 14 回ですけれども、5 回これを追加いたします。そして産後ケアにも力を入れてまいります。令和 5 年度から多胎産婦の方の利用者負担の軽減ということも取り組んでまいります。

そして一番金額的に多いものが、子ども医療費の助成の対象を、現在中学校の入院分までは倉敷市が補助いたしまして無料といたしておりますわけですけれども、令和 5 年の 7 月から中学校の通院分につきましても倉敷市の助成を行うことによりまして、安心して無料で医療を受けていただけるようにするということといたしました。ですので令和 5 年度の当初予算でこれが認められましたら、システムの改修を行います。そして子どもさんの受給資格証を対象の方にお送りをいたしまして、令和 5 年 7 月の受診分から中学校の通院の分を無料ということで必要な方がお受けいただけるようになる形とさせていただきます。財源については非常に厳しい状況なわけございまして、当面は財政調整基金などの取り崩しで対応していくということになりますけれども、ご存知のように様々な行革そして公共施設の再編等でいろいろな財政面の工夫もしながら、この事業が継続的にしっかり続いていくように頑張っていきたいと思っているところでございます。

それから次です。後ほどまた大臣会合のこともお話いたしますけれども大臣会合に関する予算の計上でありますとか、それから将棋・囲碁関係のイベントですけれども、昨年名人戦を開催いたしましたして、今年は将棋連盟と相談をいたしまして、初めて全日本アマチュア将棋名人戦の全国大会を倉敷市芸文館で開催をさせていただくこととなります。大山先生も非常に将棋の育成ということに、そして若い方たちが頑張ることについて力を入れていただいておりますので頑張っていきたいと思っております。それから12月には初めてですけれども、囲碁サミットを倉敷で開催いたします。こちら日本棋院・関西棋院の皆さんと相談しまして、倉敷で初めて囲碁サミットを行うことといたしました。

国際会議等の誘致の事業ですけれども、これはサミットのことにも大きく関わってまいりますけれども、前回のサミットそして今回2回目のサミットを成功裏に進めていく、そして今後につなげていくために、国際会議の誘致セールスを強化するために専任の職員を置くようにしていきたいと思っております。また、特に欧米圏からの倉敷へのお客様が非常に以前より多く来ていただいているわけでありますので、特に欧米圏のインバウンド誘致を促進していくために、倉敷市の魅力を発信する動画をWebメディア等を通じてプロモーション活動を実施していこうと思っております。

次に修学旅行の事業でございます。修学旅行については1泊あたりの助成金を2,000円ということで、コロナの環境の中で各方面の方にPRして取り組んでまいりましたけれども、非常に効果がありまして、多くの方に修学旅行に倉敷に来ていただいております。この事業を令和5年度も続けていこうと思っております。

農作物の鳥獣被害の関係でございますけれども、新たに2人以上の複数で罠を設置していただいた場合、平米とかの基準はございますけれども、補助の上限額それから補助割合についてこれまでよりも使っていただきやすいような制度を設けてまいり

ます。

アンテナショップでございますけれどもこの令和5年度中に準備をいたしまして、まだ正式なビルのオープンの日にちが発表になっておりませんので、それと合わせてオープンしていく予定と思っております。

次の地域資源関係ですけれども、こちらは実は多くの方々からいろいろな会議等の中でノベルティを使ったり、それから企業の方が自分の会社に来られる方にお土産をお渡しをしたりするときに、倉敷の特産のものを使いたいんだけどもたくさんありすぎてどれを使えばいいのかとか、一覧表のもので何かわかりやすいものがないのかというお声をたくさんいただきまして、このような形でカテゴリーとか価格別に取りまとめたような Web ページを作成していただきまして参照していただきやすいようなものをしていこうと思っております。

それから11月に伝統工芸品月間としての国民会議の全国大会が岡山県内で実施される予定となっております。それに合わせて倉敷市でも工芸品のことについての事業を行っていこうと思っております。

次にキャリア教育推進の事業でございます。これまでも行っておりましたが、新たに地元企業の皆さんに中学校に来ていただいて、その職種ごとの特色を発表していただいて、実際の体験をよりしていただいて、地元の将来の自分の仕事として考えていただけるような、そういう取り組みをさらに強化したいと思っております。地域おこし協力隊につきましても増員をしてみたいです。

市民の皆様の安全を守る事業といたしまして排水機場の改修、そして大規模な修繕、そして浚渫などの事業を大規模に行ってまいります。また、すでに発表しております都市防災公園山陽ハイツ跡地部分についての整備を進めてまいります。そして小田川合流点の付替え事業に伴いまして、国が設置する河川防災ステーションの中に地域の

水防活動の拠点としての場所も設けてまいります。

そして、次が少し倉敷市の方針をちょっと変えていくところなんですけれども、緊急告知 FM ラジオの補助の制度をまる 1 年ほど前に変えたばかりなんですけれども、今後のことをいろいろ検討いたしまして、そこから大きく変わるわけではないんですけれども、よりよくするという形で制度の見直しを行います。現在、倉敷市内に配置をしております屋外拡声塔の緊急情報提供無線システム、こちらの方は平成 16 年の大きな台風・高潮水害の後、市の方で検討しまして、小学校や中学校などの拠点に拡声塔をつけて、地域の方にいざという時の放送を避難勧告とか避難情報を出すということで、平成 18 年度に設置いたしました。当時はまだ今のようなスマートフォンがどんどん使われているような時代ではなかったわけなんですけれども、現在にご存知のようにスマートフォンは非常に普通の機器となりまして、行政の避難情報等も、もちろん拡声塔でも出ておりますけれども、手元のスマホでどんどん出るような状況となってまいりました。そして拡声塔の機器の見直しということも考えまして、令和 7 年度末をもって今の屋外拡声塔については廃止をしていきたいと思っております。その代替えのことといたしまして、もちろんテレビそしてスマートフォンは、多くの方が災害がありそうな時つけていただいている当然一番身近なものでありますけれども、そのようなものをあまり見られない、それからスマホをされない年長の方、高齢の方と、それから避難行動要支援者の方については、税込 (2,000 円) で FM の緊急の「こくっち」をご購入をいただけるような制度を設けまして、まずは令和 5 年度、6 年度、7 年度に数千台ぐらいの予算をつけまして、適宜必要に応じまして補正等も検討してまいりたいと思っておりますけれども、1 世帯に一つはそのような情報が入りやすいメディアがあると、これはスマートフォンも含めてですけれども、そういう状態を作りたいと思っております。こちらが 1 台だいたいいろいろな機材のところも含

めまして1万円ぐらいかかりますので、2,000円以外の部分を倉敷市が補助をして、住民の皆様がお求めをいただけるような形にしたいと思っております。

ハザードマップにつきましては洪水土砂災害ハザードマップ、高潮ハザードマップにつきましては、今年の夏の時期に間に合うような形で当初予算をつけまして皆様のごところに配布をしていけるように準備をしていきたいと思っております。

備蓄の予算でありますとか、それから「くらしき防災フェア」を昨年大変好評でございましたので、今年も取り組んでまいります。

児島の公共施設複合化の事業については策定してまいります。今基本構想のパブコメをさせていただいているところであります。

福祉・医療・保健関係のものでございますけれども、ワクチン関係のこと、それから送迎用のバスの置き去りの対策のものについての予算を計上しています。

飼い主のいない地域猫の手術のことについての予算ですけれども、現在100万円の予算でありますけれども、令和5年度については200万円の予算といたしております。そして、こちらはもちろん予算も組んでいるわけですけれどもクラウドファンディングもぜひ使っていった多くの方のご支援もいただきながらこの事業を進めていきたいと思っております。

最初に今回の令和5年度の予算の大きな特色である子育ての関連を申し上げましたが、もう一つ大きな特色がデジタル対応への取り組みということであります。デジタル田園都市国家構想の推進事業といたしまして、倉敷市の地域ポータルサイト、そしてそこから入って保育支援システムが使えるたり、学校園と保護者の間での連絡等ができる保護者連絡システムが使えるしたり、観光に来られる方が例えば市内の混雑情報などもリアルタイムで見ていただけるような観光アプリもこの地域ポータルサイトの中に入れてまして取り組みを進めていきたいと思っております。ですので、まずは地

域ポータルサイトが一番最初に出てきまして、その中で選んでいけるようなものとして、まず今回は3つを上げておりますけれども、今後また随時これを増やしていくようにしてデジタル対応の部分について力を入れたいと思っております。

2,022 億円の大きな要因ともなっておりますけれども、様々な事業を行います。庁舎の再編整備でありますとか、それから中央斎場の整備の事業、そして自然史博物館とライフパークの一部複合化ということでこちらは基本計画でございます。そして福田公園の屋内プールを新たに整備していくんですけれども、それに向けてのまず今あるプールの解体の工事、そして旧倉敷北児童センターの西岡荘への転用そして旧西岡荘の解体ということも進めてまいります。全体額としては2,022 億円といたしております。

最後にもう1点の発表でございますが、サミットに関する取り組みについてであります。今こちらのプレイベントの方は昨年の12月から様々な取り組みをしております。おもてなし英語講座そして高校生向けそれからお店の皆さんたち向け、先日日曜日に林大臣が各国大使の皆さんとお越しをいただきまして、本日もG7の各国の実際の業務をされます大使館の皆様が倉敷に来られて下見をされまして倉敷の歴史や文化、そしてなぜ労働雇用大臣会合をするのかということについてのお話などをさせていただきました。そして3月に入りますと子どもサミット、県の大臣会合記念フォーラム、そして3月30日の倉敷市の記念シンポジウムの中を今日は発表させていただこうと思っております。すでに吉野先生によります基調講演を行うということは発表いたしております。「リチウムイオン電池が拓く未来社会」、その後、大原記念労働科学研究所の濱野理事長さんによる「倉敷で生まれた労働科学」ということについての基調講演、次のパネルディスカッションに導くところの講演をしていただきまして、パネルディスカッションに入っております。「働く人のためのサステナビリティ」

という形で大原記念労働科学研究所の所長さん、県内の経済団体の座長の中島会長さん、県内の働く皆様の大きな代表であります連合の森会長さん、地元の歴史と文化を代表いただきます大原美術館の大原あかねさん、そして倉敷青年会議所理事長、若手経済人であり、SDG s への取り組みを早くから行っていただいている倉敷青年会議所の理事長の土倉佳奈さんにパネルディスカッションをお願いをしたいと思っています。そしてまた学生による探求学習ということで、以前の労研饅頭のような、働く人たちにどういう工夫を食で応援ができるかということなどを発表できるような、そういうシンポジウムといたしまして、皆さんに発表の内容そしてここでまとめるコミュニケと言いますか宣言文を国の方にも提出していきたいと思っています。今日も大使館の皆さんが来られました。そして先日には先ほどの大臣、大使の皆さん、そしてフランスのメディアの皆さん、また G7 の長崎の保健大臣会合とも連携をして取り組みをいたしております。特設サイト SNS 等も開設をしておりますので、ぜひ PR をしていきたいと思っています。

最後にワクチン接種につきましては天満屋の 5 階の特設会場での 2 月までの開設につきましては、日にちを書いておりますので、ぜひご参照いただければと思っています。

大臣会合に向けまして期日も 3 カ月を切ってまいりました。しっかり準備をいたしまして、そしてそのことが全国、世界にも倉敷が発信できるように取り組んでいきたいと思っています。以上です。よろしくお願いいたします。